

農林水産大臣賞

おくのや
農事組合法人 奥谷梨生産組合
(石川県加賀市)

◆背景

奥谷集落は石川県西端の加賀市に位置し福井県と隣接。農業の主は稲作であったが、昭和41年高速道路の集落縦貫によって農地が失われ地域農業の危機に陥った。その際、市から国有林開発による梨産地づくりを提案され、集落有志3名が集落外からも賛同者を集め活動を開始。昭和50年には組合を設立し30haの梨園を造成、現在まで梨園を守り続ける。「若い人たちが梨を作りたいと思う時、誰でも取り組めるような梨団地でありたい」と、地域外からも新しい人達を柔軟に受け入れる仕組みを構築し、「集落」という枠にこだわらない新たな「むら」が形成されている。



農事組合法人 奥谷梨生産組合

◆取組概要

① 農業生産面

- ・**「加賀梨」のブランド化と付加価値向上**：光センサー選果機導入による品質と信頼性向上、規格外梨の活用や直売イベントによる「加賀梨」知名度向上に取り組む。
- ・**スマート農業の推進**：スマホで管理可能な温度センサー、霜害予測システムといった新たな技術の導入のほか、市の新型Wi-Fiやドローンの実証実験に参加し技術進歩に協力。
- ・**就農しやすい環境による担い手確保**：農業機械の共同利用による初期投資の少なさや共同販売による販路確保、ベテラン農家による手厚いサポートのほか、外部から人が入りやすい雰囲気や通勤農業による組合員同士の適度な距離感など、就農しやすい環境が醸成。

② 生活・環境整備面

- ・**地域の誇り、夜景の創出**：特産品の「加賀梨」は地域の誇りとして市民の贈答需要を生み出し、防蛾灯を活用した害虫対策は美しい夜景を創出している。
- ・**交流の場としての役割、賑わいと関係人口・雇用の創出**：梨園は花見会などのイベント開催により多くの人を呼び込み、選果場でのアルバイトは地域の雇用を生み出している。
- ・**加賀市の移住促進**：組合は地域おこし協力隊の受入・指導を行うほか、市と連携した移住PR動画・特集記事などによって大きな反響を呼ぶなど、加賀市全体の移住促進に貢献。

◆写真で見る団体の取組



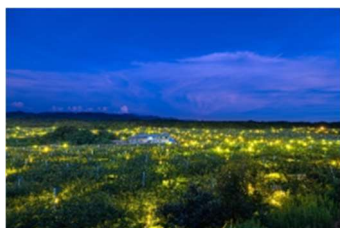
共同の光センサー選果機



スーパーでの直売活動



地域おこし協力隊への栽培指導



防蛾灯による夜景



梨の花見会



移住PRの動画とパンフレット